

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における悪性呼吸器疾患と非悪性呼吸器疾患の終末期医療の実態調査

1. 研究の対象および研究対象期間

以下の期間に当院呼吸器・アレルギー内科に入院加療し、死亡退院した患者
2018年1月1日から2019年1月31日の期間

2. 研究目的・方法

呼吸器悪性疾患において身体的、精神的、社会的およびスピリチュアルな苦痛に対する緩和ケアはきわめて重要であり、早期から緩和ケアを実施することはQOL改善のみならず、延命にもつながる重要な要素です。また、呼吸器疾患は悪性疾患のみならず、非悪性疾患でも終末期には呼吸困難感などで苦痛を伴う疾患が多いことが知られています。このような患者に対する終末期医療及び症状緩和の対策は極めて重要となってきています。しかし、その一方で非悪性疾患における終末期医療のあり方に関する治療指針やコンセンサスは未だに十分であるとは言い難い状況です。調べた範囲では呼吸器疾患の悪性疾患群と非悪性疾患群の終末期を比較したデータはなく、その実態を調査することで、各々の問題点を明らかにして、より良い終末期医療を提供するためのきっかけになるのではないかと我々は考えました。本研究では、原疾患が悪性疾患（肺癌）と非悪性疾患（肺癌以外の良性呼吸器疾患）、それぞれで死亡した患者を抽出し、当科で入院中に施行した終末期医療の内容の実態調査を行います。そこから浮かび上がってきた問題点および今後の解決策について検討します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長 相良博典の研究実施許可を得てから2021年10月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療内容、有害事象の発生状況。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧する

ことが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門） 研究責任者：鈴木慎太郎

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532